

避雷器本体内部素子の点検方法は動作開始電圧を測定して判断します。

●端子配列と結線図

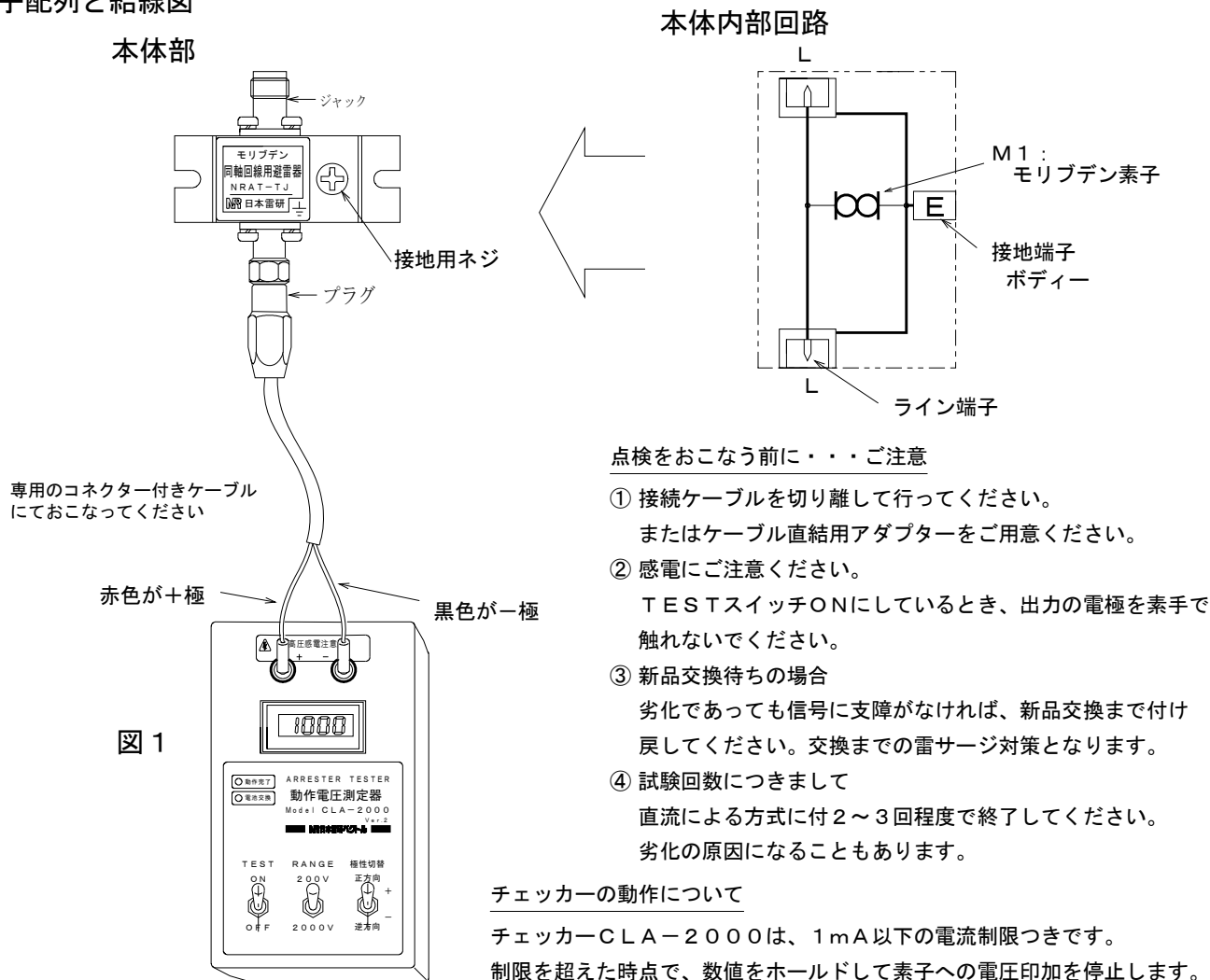


図 1

点検をおこなう前に・・・ご注意

- ① 接続ケーブルを切り離して行ってください。
またはケーブル直結用アダプターをご用意ください。
- ② 感電にご注意ください。
TESTスイッチONにしているとき、出力の電極を素手で触れないでください。
- ③ 新品交換待ちの場合
劣化であっても信号に支障がなければ、新品交換まで付け戻してください。交換までの雷サージ対策となります。
- ④ 試験回数につきまして
直流による方式に付2～3回程度で終了してください。
劣化の原因になることもあります。

チェッカーの動作について

チェッカーCLA-2000は、1mA以下の電流制限つきです。制限を超えた時点で、数値をホールドして素子への電圧印加を停止します。数値はTESTスイッチをOFFにするまで表示します。

●素子の良否判定方法

- ① チェッカーCLA-2000を図1のように接続します。
- ② 測定する端子間の動作電圧に合わせてRANGE（レンジ）を切り換えてください。
- ③ TESTスイッチをON側に投入してください。
- ④ 指示値が下表の範囲外の場合は、劣化（不良）と判定します。

<NRAT-TJ 避雷器>

各素子	測定端子	端子符号 +極 -極	印加電圧 (レンジ)	確認内容	※1	交換判定推奨値
M1	芯線-E 間	L-E	DC2000V	400～900VDCの範囲内であること		300V以下

※1 範囲以下でも自復作用もあり支障なければ使用可能です。ただし、300V以下の場合は交換をお奨めします。